

東アジア日本学研究学会
第三回国際シンポジウムのお知らせ

东亚日本学研究学会第三次国际学术研讨会通知

2021年9月17日～19日

中国・蘇州大学

尊敬する各位：

東アジア地域における主たる国々である中国、日本、韓国は地理的に一衣帯水の関係であるのみでなく、古くから政治・経済・文化などの交流が盛んに行われている隣国であることは周知の通りであります。もちろん、それぞれの国益から出発した政治、経済、文化、領土、軍事など多方面にわたる種々の問題により、3カ国の間で不協和音が曲線を描きながら続いていることもまた否めない事実であります。しかし、学問の世界には事実のみあって、個人的・民族的・宗教的・国家的次元による狭隘な考え方は挟まれる余地がありません。このような考え方に基づき、中・日・韓3カ国の31名の発起人によって2018年9月、「東アジア日本学研究学会」を立ち上げると同時に、第一回目の国際シンポジウムを開催し、現在に至ります。

「第三回東アジア日本学研究国際シンポジウム」は昨年10月に日本大学で開催予定でしたが、長引くコロナ禍で開催を後伸ばしとなり、結局およそ1年後の今年9月に開催する運びとなりました。

「第三回東アジア日本学研究国際シンポジウム」の開催地である蘇州大学は江蘇省蘇州市の旧市街にメインキャンパスがあります。蘇州大学は歴史が古く、その前身は1900年創立された東呉大学です。蘇州は昔から「上空には天国あり、地上には蘇（州）杭（州）がある」と俗に言われているぐらい、2500年の歴史を誇る古都であります。観光のスポットとして世界的にもその名を馳せている拙政園、獅子林、留園などの古の庭園があります。上海の虹橋空港から蘇州駅まで「高鉄」（新幹線）で、わずか30分ぐらいの距離で、交通が便利で経済的にも発達した都市であります。蘇州大学は、「211」（21世紀中国百個大学建設事業）のリストに入っている名門総合大学であります。

今回のシンポジウムを通して東アジアにおける日本学研究の更なる発展を期する次第であります。願わくは、国内外の多くの方々に本シンポジウムに参加していただき、主題をめぐる活発な学術的な議論が行なわれますことを心より期待しております。

1. 参加資格（参加资格）

本学会会員及び日本学研究を中心とする東アジアにおける人文社会系の研究、特に比較研究に興味のある方なら誰でも参加できます。

2. 大会日程（大会日程）

- 09月17日（金）PM 03:00～7:00 受付（報到）
- 09月18日（土）AM 09:00～12:00 開会式、基調講演など
PM 13:00～18:00 分科会発表、閉会式など
PM 18:30～20:30 懇親会
- 09月19日（日）実地踏査

3. シンポジウムの主題（研究会主題）

大会の主題：代化過程における近代性と伝統の拮抗

※大会の主題は基調講演に限ったものであって、分科会における発表内容は従来通りに日本学を中心とした人文科学系のすべての内容を含めます。

4. 大会開催の形式（大会举办形式）

コロナのため、海外への移動が不可能な場合を考慮し、大会はオフラインとオンライン同時開催を考えています。中国国内ではオフライン、中国以外の国や地域ではオンラインで参加・発表します。なお、海外の方が大会に参加するために中国に入国する場合は、あらかじめ在外中国領事館の入国規定を確認してください。

5. お申し込み（申請方法）

学術大会参加をご希望の方は**申込書**に必要事項をご記入後、**06月30日**までに学会指定のメールアドレス (ejja2017@163.com) に送ってください。大会準備委員会で申請内容に基づいて審査を行ったあと、参加可否を申請者にメールで通知します。参加を許可された方は**発表要旨**（2000～2400字、ワードで40字×35行）を**08月20日**までに送ってください。大会参加の要請状をお求めの方は、参加許可を得たのち、メールにて申請すれば、学会印を捺印した電子版をメールで送ることができます。シンポジウムの日程表、宿泊申込書等は順次発送いたします。

なお、申込書は「**フルネーム・参加申込書**」、要旨は「**フルネーム・発表要旨**」にして送ってください。

6. 参加費（会務費）

参加費は、会員はお一人600円（年会費を納入済みの方に限る）、非会員は700円（但し、大学院生及び学部生はそれぞれ300円と400円。大会当日入会申込書を提出し、会費を支払った場合は会員に準じて参加費を徴収）を受付の際に徴収します（2021年度の会員の会費は当日別途徴収します）。尚、交通費と宿泊費は自己負担とします。参加費には資料代（予稿集）、記念品代、市内移動費、受付当日（09月17日）の夕食、18日の昼食と夕食代（懇親会）、19日の昼食代およびその他が含まれています。なお、オンライン参

加の方は無料です。

7. 学会誌への投稿（論文投稿）

シンポジウムで発表された論文及び会員の投稿論文(但し、非会員の方の場合は、掲載料として 500 元いただきます)の中から厳選し、『東アジア日本学研究 第七号』(インターネット版学会誌。但し、有料で紙媒体の学会誌も提供可)に掲載します。

なお、「論文投稿要領」は学会のホームページを見るか、[学会事務局の学会誌専用メールにて求めてください。](mailto:eaaja2017@163.com)

8. 論文発表使用言語（論文发表使用语言）

本シンポジウムは多国籍の参加者が予定されているので、発表は原則的に日本語に限りませんが、特別セッションと分科会はその限りではありません。やむを得ない事情により、その他の言語で発表される方は、必ず日本語の概要を PPT にするか、紙媒体にして分科会で配布してください。

9. 主催・共催者と後援（主办，协办，赞助）

主催（主办）東アジア日本学研究会

共催：蘇州大学外国語学院

後援：カシオ有限公司、国際交流基金北京文化中心、外語教学与研究出版社などを予定

10. 連絡先（联系地址）

〒215006 蘇州市十梓街一号蘇州大学外国語学院（天賜庄キャンパス）

HP1：0086-13862160747(李東軍、蘇州大学)

HP2：0086-18238026613(金珽実、学会事務局)

HP3：0086-13915517742(施暉、蘇州大学)

HP4：0081-9072219180(金龍哲、日本)

HP5：0082-104438-8141(李東哲、韓国)

専用メールアドレス：eaaja2017@163.com ←申込書はここへ

実行委員会：李東軍（委員長）、金珽実（副委員長）、施暉（副委員長）、安達義弘、
崔光準、金龍哲、李東哲

10. 交通案内：

宿泊先：蘇州市十全街相王弄 133 号 蘇州姑蘇飯店

(1) 飛行機ご利用の場合

[上海浦東国際空港と虹橋国際机场](#)

- ①浦東空港長距離バスターミナルー蘇州駅（終点）（所要時間約 2 時間 30 分）
 ②虹橋国際空港なら、高鐵（新幹線）で蘇州駅（終点）まで（所要時間 30 分）
 長距離バスの場合は空港から蘇州駅まで約 1 時間 30 分

蘇州駅到着後、地下鉄 4 号線で三元坊駅で下車、47 番バスに乗り換え、蘇州飯店で下車、徒歩 100 メートル

(2) 列車をご利用の場合

①**蘇州駅** 同上

タクシーをご利用の場合は、蘇州姑蘇飯店まで約 20 元かかります。

②**蘇州高铁北站** 地下鉄 2 号線で蘇州駅へ移動。蘇州駅からは同上

タクシーをご利用の場合は、蘇州姑蘇飯店まで約 50 元かかります。

切り取り

第三回東アジア日本学研究学会国際シンポジウム

申 込 書

氏 名		性 別	1.男() 2.女()	国 籍	
勤 務 先			肩書き		
電 話	勤務先 or 自宅電話		携帯電話		
連 絡 先	〒				
E-mail	E-mail:				
宿泊予約	①ご希望 () ②不要 () ※大学近所の「蘇州姑蘇飯店」全街相王弄 1 3 3 号 ※内部価格:部屋のタイプによって 1 泊 300~350 元(先着順、但し 60 名まで)				
発表論文 有 無	有:(題目)				
	無:()				
ご自由に お書きく ださい。					

注①：大学や研究機関にお勤めの方は「肩書き」欄に「教授」、「講師」、「研究員」などと記入し、大学院生は「院生」、その他は「一般」と記入してください。

注②：申込書ご返送の際は、申込書だけを切り取って送ってください。

注③：申込み終了後、改めてホテル予約申込書等（到着時間調査票等を含む）を送付。

注④ **核酸検査 (NAT) の陰性証明書**を必ずご持参!!!